

浄心寺だより

発行

浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081
 笠岡市笠岡2065
 電話(0865)62-2623
 FAX(0865)62-2595
 振替01260-9-13760
<http://joshinji.suki-ari.net/>



継職記念事業進む

近ごろ「いろは」を全部言えない人がいます。言えてもこれが仏教精神をあらわす歌であることを知つて正しく書ける人は少なくなつたようです。千年余りの間、日本人の心に口に親しんだ歌ですから私たちも心得て人生の指標としたいものです。

色は匂へど散りぬるを我が世誰ぞ常ならむ
 (色美しく咲き匂う花もやがて散るように、
 人間も万物もいつまでも同じではない)

有為の奥山けふ越えて浅き夢見し醉ひもせず
 (まよいの世界を抜け出すことができれば、
 目先のことのみ求めたり、怒りや欲や愚かさに振り回されることもなくなり真実の仕合わせになれる)

ということで、諸行無常、是生滅法、生滅滅

己、寂滅為樂（涅槃經）の訳です。

いろは歌の導きを受けて、どうか早く仏法を聞き身につけ、仕合わせになつていただきたいものです。

7月17日(金)
 13:30より

法寶物 虫ぼら法座

鷹谷俊昭著『月ごとのことば』 転載

ご法話 福山市・光行寺 荻屋光影師

「み法を味わつて」(八)
 いろは歌

宗祖降誕会 つとまる



五月十六日午後一時半より、親鸞聖人のご誕生をお祝いして宗祖降誕会（ごうたんえ）法要が勤まりました。

まず、一同で和訳正信偈をおつとめしました。続いて、例年通り奉贊行事が二部催されました。

第一部は浄心寺女声コーラス同好会「コール清風（しようふう）」による仏教讃歌。平田澄子先生の電子ピアノ伴奏のもと、「衆会（しゆうえ）」、「生きる」、「念佛」、「し



一席目では三喬師匠のおいしそうにぜんざいを食べる技が光り、二

んらんさま」の四曲を披露。美しく可憐なハーモニーが堂内に響きました。

第二部は上方落語。今年は笑福亭松喬師匠の一番弟子、三喬（さんきょう）さんがみました。休憩を挟んで二席あり、一席目は「せんざい公社」、二席目は「くしゃみ講釈」でした。「せんざい公社」は現代を舞台に、国営のせんざい屋さんという設定のもと、主人公がせんざいにありつくまでに、あれこれとお役所ならではの手続きを踏まされ、もどかしい思いをする、というネタでした。「くしゃみ講釈」は、有名な講釈師に犬の糞をつけられた仕返しに、主人公が講釈場でとうがらしを火鉢で焚いて、講釈師にくしゃみを連発させて舞台を台無しにするという話でした。

五月十六日午後一時半より、親鸞聖人のご誕生をお祝いして宗祖降誕会（ごうたんえ）法要が勤まりました。

まず、一同で和訳正信偈をおつとめしました。続いて、例年通り奉贊行事が二部催されました。

第一部は浄心寺女声コーラス同好会「コール清風（しようふう）」による仏教讃歌。平田澄子先生の電子ピアノ伴奏のもと、「衆会（しゆうえ）」、「生きる」、「念佛」、「し

心配された雨もなく、初夏の降誕会にふさわしいにぎやかな法座となりました。

席目では師匠ののぞきからくりの口上や講談の語り口に一同ときほれました。

四月二十六日（日）に備中里組仏教青年部会（奥村彰見部会長）主催「高島を歩こう」が開かれました。総勢六十一名と三世代での参加も含め多くの方々に参加いただきました。

浄心寺で開会式の後、住吉港からチャーター便で高島に渡り、午前中は子はらみ石の見学と、古代の趣を残す海岸を散策しました。公民館で高島ならではの弁当を食べた後、清水のわき出る「真名井」を経て、急階段を登つて神武天皇ゆかりの「高島行宮遺祉碑」に到着。しばらく見晴らしを楽しんだ後は有名な巨石群の立ち並ぶエリアを通つて下山しました。

再び浄心寺に戻り、閉会式の後、集合写真を受け取り解散しました。少々疲れましたが、カラッと晴れた良いお天気で、さわやかな汗を流した楽しい一日でした。

サマースケール

◎とき

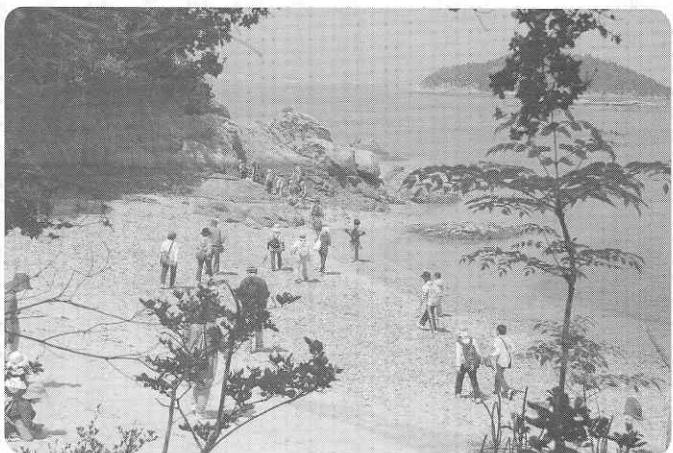
7月22日(水)~23日(木) 1泊2日

◎ところ 浄心寺

◎対象 小学生

詳しくは浄心寺までお問い合わせください。

(0865)62-2623





研修旅行に参加して

平田 高年

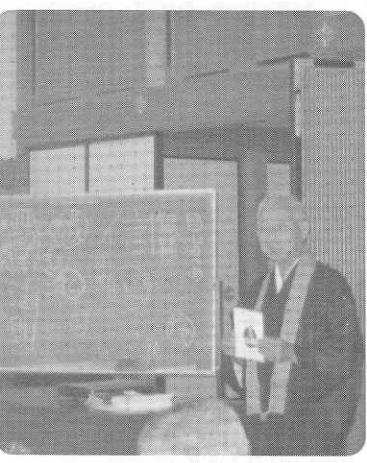
去る六月六日、二十七年度の浄心寺の研修旅行を日帰りで、三原市久井町、光徳寺で修めてきました。一行三十人は午前に因島重井町の万田発酵（株）で酵素の製造方法や、その施肥効果などを見学し、午後から光徳寺でご高名の藤田徹文前住職のご法話を拝聴しました。その骨子は

「わたしたちの浄土真宗では信心が第一です。信心＝智慧である。

第二に無量の縁の法則として人間は一人では生きられず、多くの縁の中で生かされております。「わしが、わしが……」と思う気持ちで生きると不幸に陥る。自分の人生は他者から生かされていることをよく自覚して損得から離れて自分を見つめる生き方をすることが、目覚めるということである。」などなど。

その後、広い境内の「アミダの園」に安置されている如来、祖師、中祖像をお参りし碑文のお言葉をあらかじめ配布されたしおりに記帳しました。

私たちは日常において右のご法義に気付かずになります。このたびの研修で自覚を促された貴重な旅でした。



仏婦コーナー

アンナの園

初参式

五月十七日十時より初参式が開催されました。浄心寺仏教婦人会主催の行事で、第四回目です。

今回は四名のお子さんと保護者や家族の方々の参加がありました。



誕生日ミニコンサート

仏教讃歌を披露するコール清風



副住職によるおつとめ、ご法話の後、集合写真を撮り、手形、足形を色紙にとりました。お寺のご仏前で「ありがとうございます」と手を合わせた、よいご縁でした。

平成27年度

門信徒会総会

平成26年度 行事報告(抜粋)

- 花まつり 4月29日(火) 9時 白印茶会
- 総 会 5月17日(土) 11時30分
- 降 誕 会 13:30 コール清風
佛教讃歌と上方落語
- 笑福亭生喬師、笑福亭生壽師
- 研修旅行 6月 1日(日) 中村元記念館と大根島散策
- 法物虫ぼし法座 7月17日(木) 東広島市 興学寺 覚王地昭見師
- サマースクール 7月22日(火)～23日(水)
教区内スタッフ3名 60名
- 孟蘭盆会 8月15日(金) 10時、14時 住職、副住職
- 秋季彼岸会・永代経 9月22日(月) 福山市 光行寺 寂屋光影師
- 地区委員会 12月 6日(土) 11時
- 報恩講 13時30分 福山市 光円寺 平山智正師
- 除夜会、修正会 12月31日(水)、元旦
- 新春の集い 平成27年 1月 52名
- 春季彼岸会 平成27年3月18日(水) 熊本県 明導寺 藤岡孝教師
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇やさしい仏教入門 毎回19:30 解説:津田明雅 副住職
⑩4/10(木)、⑩6/6(金)、⑩8/24(日)、
⑩10/16(木)、⑩12/7(日)
- ◇念仏のつどい 毎月15日 13:30より
- 「浄心寺だより」発刊 107号(5月)、108号(7月)、109号(11月)、110号(3月)
- 仏教婦人会 総会、例会、各種研修会、研修旅行、料理教室、福祉施設慰問、
清掃奉仕、4/20(日)ダーナバザー、5/18(日)初参式 5名と保護者
- 文化箏同好会 毎月第1水曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 女声コーラス同好会 毎月第2土曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 本山関係 7月 全国真宗青年のつどい、9月 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要など各種研修会、記念法要など
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)
総代研修会、平和のつどい(芳井生涯学習センター)17名など
- 備中里組 同朋研修協議会、第5期連続研修会(偶数月第2木) 6名、
4/26 キッズサンガ「真備を歩こう」36名

平成27年度 行事計画

- 花まつり 阿弥陀堂建設のため休止いたします
- 総 会 5月16日(土) 10時30分
- 降 誕 会 13:30 女声コーラス同好会 コール清風
笑福亭三喬師
- 笑福亭生喬師、笑福亭生壽師
- 研修旅行 6月 6日(土) 三原市、光徳寺参拝と周辺
- 法物虫ぼし法座 7月17日(金) 福山市 光行寺 寂屋光影師
- サマースクール 7月22日(水)～23日(木) 教区内スタッフ3名
- 孟蘭盆会 8月15日(土) 10時、14時 住職、副住職
- 秋季彼岸会・永代経 9月26日(土) 福山市 光栄寺 佐藤知水師
- 地区委員会 12月 5日(土) 11時
- 報恩講 13時30分 福山市 善正寺 那須英信師
- 除夜会、修正会 12月31日(木)、元旦
- 新春の集い 平成28年 1月中旬
- 春季彼岸会 平成28年3月 講師:未定
- ☆ 繼職法要 平成28年3月27日(日)
- あさのおつとめ 通年毎朝6時
- ◇やさしい仏教入門 毎回19:30 講師:津田明雅 副住職
親鸞さまのおしえ ⑩4/6(月)、⑩6/8(金)、⑩8/22(土)、
⑩10/6(火)、⑩12/3(木)
- ◇念仏のつどい 毎月15日 13:30より(但し1月、8月はお休み)
- 「浄心寺だより」発刊 111号(5月)、112号(7月)、113号(11月)、114号(3月)
- 仏教婦人会 総会、3/8例会、各種研修会、研修旅行、料理教室、福祉施設慰問、
清掃奉仕 など、世界仏婦大会:カナダにて、5/17(日)初参式
- 文化箏同好会 毎月第1水曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 女声コーラス同好会 每月第2土曜 19:30 指導:平田澄子先生
- 本山関係 7月 全国真宗青年のつどい、9月 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要など各種研修会、記念法要など
- 備後教区 各種研修会、定例法座(毎月11日)、報恩講(11/30)
10/30(金)総代研修会、10/7(水)平和のつどい(福山リーデンローズ)など
- 備中里組 同朋研修協議会、第6期連続研修会(偶数月第2木)、4/26 キッズ
サンガ「高島を歩こう」65名、9/1(火)～9/2(水)本願寺念仏奉仕団

平成26年度 収支決算書

収入の部 5,358,180円

門信徒会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金

支出の部 5,358,180円

行事費(法座、莊嚴費、サマースクール、研修旅行、新春の集い、仏教講座、役員会、総会)、賦課金、通信費、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、当期剰余金

この決算については、平成27年4月22日、監査藤井浩一郎氏、高橋保文氏により監査を受け、正確かつ妥当なことが認められ、5月17日、門信徒会総会において承認されました。

平成27年度 収支予算書

収入の部 5,401,319円

門信徒会会費、行事参加費(新春のつどい、サマースクール、研修旅行)、教化助成金、法座懇志、冥加金、預金利子、繰越金
(ほかに門信徒会基金 10,500,000円)

支出の部 5,401,319円

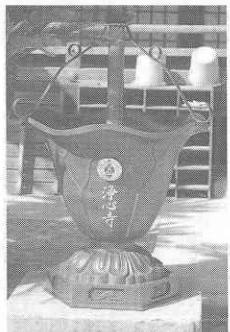
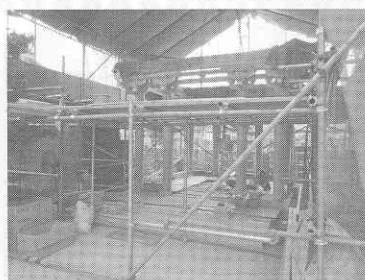
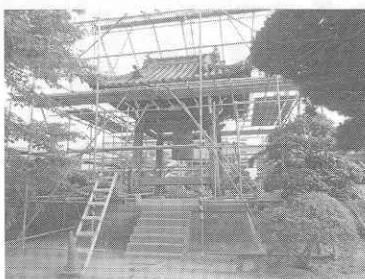
行事費(法座、サマースクール、研修旅行、新春のつどい、仏教講座、役員会、総会)、賦課金、通信費、火災保険料、手数料、消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、研修費、予備費

門・信・徒の広場

継職記念事業が 順調に進む

第十九世住職継職にあたって記念事業へのご懇意をお願い申し上げましたが、おかげさまで募金が順調に進んでいます。まだご進納でない方は何とぞよろしくお願ひ申し上げます。

事業は施工業者からの工程表に沿つて順調に運んでおり、現在は阿弥陀堂の新築工事中で、



すため住職と副住職が美濃瓦協業組合に出向き、後世に伝えるべく「第十九世住職継職記念」の文字を刻入しました。
阿弥陀堂の工事に続いて山門の修復、鐘楼の瓦の葺き替えなどが順次進められます。

第六期連続研修会(連研)が開始
備中里組主催の連研が昨年十月より開講されています。この研修会は浄土真宗のみ教えを私たちがどのように受け止め、理解していくかを参加者がお互いの思いを話し合つて、より理解を深めていくこ

うという趣旨で開かれる会です。
今期は『連研ノートE』をテキストにして偶数月の第二木曜日に十二回にわたって開かれています。
本期の参加者は次の皆さんです。

伊藤 克巳さん 有田

宍戸 得二さん 笠岡

田林 京子さん 笠岡

戸田眞左子さん 笠岡

藤井 悅子さん 生江浜

藤井 真澄さん 生江浜

なお、六月は浄心寺を会場に問い合わせ「お淨土とは何ですか」をいろいろな角度から話し合いました。

還淨(げんじょう)

おめでとうございます



瑞宝双光章
樹平一平さん

危険業務従事者叙勲受章

ました。

樹平さんは36年間にわたり、消

防職員として笠岡地区消防組合消防長などを歴任され、火災救急の現場などで活躍されました。

退職後は当門信徒会事務局の会計担当として、また「かさおか地区まちづくり協議会」の会長として地域の振興に尽力されていま

事務局の樹平一平さんが受章され
今年の春の叙勲に当寺門信徒会

から、お祝い申し上げます。

ました。

平成27年度 門信徒会会費納入のおねがい

本年度会費納入をお願い申し上げます。納入につきましては、地区委員さんを通じてか、地区委員のおられない地区の方はご参拝の折、あるいは同封の郵便振替(手数料無料)でお願いいたします。

門信徒会費は年額2,000円として、それ以上の御懇意の方には金額を限定しておりません。

(会計)

平田重太郎	西垣トシエ
三藤和夫	田林薰
大石弘規	田林
田村貞子	西垣トシエ
三宅武男	田林
三宅誠	田林
6 6 5 5 5 4 4 4	11 2 28 17 11 23 14 12
..	5810185 75 75 95 92 86
吉浜南	浅口市
正寿場	生江浜
神島外	福山市
中央町	中央町
田村	田村
三宅	三宅
大石	大石
三藤	三藤
武男	武男
誠	誠

還淨(げんじょう)

なお、六月は浄心寺を会場に問い合わせ「お淨土とは何ですか」をいろいろな角度から話し合いました。

勧められました。この深い信仰か
比叡山の奥の横川にこもり、『往生
要集』をあらわしてひろく念佛を
申しあげますが、幼くして比叡山
にまなび、深い学識と高潔な人格
をもつて知られました。しかし、
世俗的な名利をきらわれた和尚は
阿弥陀仏の
救いを願う淨
土信仰はとお
く飛鳥時代か
ら伝えられ、
念佛は早くも

比叡山の常行三昧堂を中心に行わ
れていました。京都の市中を往来

して、民衆に「身を捨てて念佛」

すべきことを勧めた空也上人も忘
れていませんが、しかし

淨土教と真剣に取り組み、これに

本格的体系をあたえて、淨土教の

発達に根本的な気運を作られたの

は七高僧の第六祖、源信和尚(げ
んしんかしよう)です。和尚はま
た恵心僧都(えしんそうず)とも

申し上げますが、幼くして比叡山

上、灰燼に帰しました。その焼け

跡の灰の中から奇跡的にこのお名

をもつて知られました。しかし、

世俗的な名利をきらわれた和尚は

比叡山の奥の横川にこもり、『往生
要集』をあらわしてひろく念佛を
勧められました。この深い信仰を

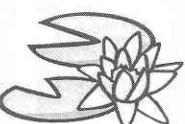


源信和尚

2、仏教のあゆみ

6、源信和尚

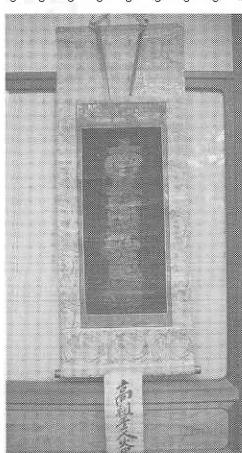
浄土真宗

教えと
そのあゆみ

ら生まれた名著には、地獄・餓鬼
・畜生・修羅・人間・天の迷いの
世界(六道)と、悟りの世界であ
る極楽淨土の光景を対照的にえが
き、読む人におのずから淨土への

思慕をあたえて、大きな反響をよ
びおこしたのです。

源信和尚によつて本格的に取り
上げられた淨土教は、やがて当時
一般に信じられた末法思想—末法
五濁の悪世に入つたという時代觀
—を背景として急速に流布しまし
た。そうして淨土に生まれんこと
を願つて聖(ひじり)とか上人と
呼ばれる人たちが続々と世をすて
寺伝によりますと当寺の草創は
天正十九年(一五九一)本願寺第
十三世・顕如宗主の命を受けた善
了が笠岡に下向し東山山麓に一字
を建てたとあります。その後、寺
基を現在の地に移しました。正保
元年(一六四四)に本堂が自火炎
焼け焦げた瓦が出土しました。当
時の火災を証明する史料として大
切に保存することにいたしました。



▲
裏書に『六字名號』高祖聖人真跡
〔善了中國下向之時自顯如上人附與之者
也而後正保元年當宇炎上之砌於灰中得
之哉文字耳存在矣〕

火中出現の名号

(タテ80cmヨコ30cm)

号の軸が発見されたということです。その真偽はともかく、以来
「火中出現のお名号」として永く
寺宝として伝えられています。

その後、寛文五年(一六六五)
現在の本堂が建立され今日に至つ
ています。

なお、このたび阿弥陀堂の新築
にあたり、基礎工事中に地中から
焼け焦げた瓦が出土しました。当
時に火災を証明する史料として大
切に保存することにいたしました。

浄心寺の法寶物 その11

その11

孟蘭盆会

八月十五日(土)十時、十四時

ご都合のよい時間帯に
お参りください

秋季 永代経

九月二十六日(土)十三時半

ご法話 光榮寺 佐藤知水師

編集後記

漸く繁農の節となり、境内には
記念事業工事の槌音が響く今日こ
の頃です。八月十五日孟蘭盆会、
九月二十六日秋季彼岸会・永代経
法要のご案内、門信徒総会報告、
研修旅行その他諸般の報告等第一
一二号の浄心寺だよりをお届けし